

## 2024年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年4月30日

上場会社名 手間いらず株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2477 URL <https://www.temairazu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 哲男  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画室長 (氏名) 中野 寿男 (TEL) 03-5447-6690  
四半期報告書提出予定日 2024年4月30日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第3四半期の業績 (2023年7月1日～2024年3月31日)

## (1) 経営成績 (累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第3四半期	1,509	11.8	1,108	11.4	1,109	11.4	715	11.1
2023年6月期第3四半期	1,350	11.3	995	14.8	996	13.9	644	13.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第3四半期	110.47	-
2023年6月期第3四半期	99.42	-

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期第3四半期	6,592	6,297	95.5	971.79
2023年6月期	6,181	5,784	93.6	892.74

(参考) 自己資本 2024年6月期第3四半期 6,297百万円 2023年6月期 5,784百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	13.00	-	17.50	30.50
2024年6月期	-	14.00	-	-	-
2024年6月期(予想)	-	-	-	15.00	29.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日～2024年6月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,928	6.6	1,297	△2.6	1,302	△2.4	831	△4.8	128.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期3Q	6,480,396株	2023年6月期	6,479,834株
② 期末自己株式数	2024年6月期3Q	485株	2023年6月期	436株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期3Q	6,479,665株	2023年6月期3Q	6,479,194株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(収益認識関係) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ①わが国経済の状況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動が緩やかに回復しつつあります。その一方で、中東地域をめぐる情勢や長期化するウクライナ情勢、円安基調の経済情勢等を背景としたエネルギー価格の高騰、物価の上昇、各国の金利政策等により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

#### ②当社業績と関連性が高い市場の状況

アプリケーションサービス事業と関連性がある宿泊旅行業界においては、年末年始や春休みの国内旅行者に加え、インバウンド需要の回復も見られ、宿泊需要や消費額が堅調に推移しております。

観光庁の調査によると、2023年7月から2024年2月までの日本国内の延べ宿泊者数は前年同期比約19%増、外国人延べ宿泊者数は約235%増となり、国内外からの宿泊需要が堅調に推移しております。なお、2023年7月から2024年2月における延べ宿泊者数に占める外国人延べ宿泊者数の割合は約21%となり、前年同期間の約8%から増加しております。

また、日本政府観光局の発表によると、2023年7月から2024年2月の訪日外客の総数は約1,983万人で、前年同期比約215%増と前年を大きく上回る数字となりました。なお、2024年2月以前の12ヶ月間における訪日外客の総数は、2019年と比較し約86%まで回復しております。

このような事業環境の中、当社では引き続き宿泊需要が堅調に推移すると捉えており、宿泊施設の業務効率化や利便性向上を目的としたシステム連携や、宿泊施設の販路拡大を目的とした国内外の宿泊予約サイト等との連携、そして『TEMAIRAZU』シリーズの機能拡充や営業活動の強化など、積極的に進めてまいります。

#### ③業績の概況

アプリケーションサービス事業において、国内外からの宿泊需要の回復が見られたことから、当第3四半期累計期間の売上高は1,509,524千円（前年同期比11.8%増）となりました。また、営業利益は1,108,926千円（前年同期比11.4%増）、経常利益は1,109,848千円（前年同期比11.4%増）、四半期純利益は715,784千円（前年同期比11.1%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりです。

#### アプリケーションサービス事業

宿泊予約サイトコントローラー『TEMAIRAZU』シリーズにおいて、宿泊施設の販路拡大を図ることを目的に、訪日台湾客向けに日本旅行の情報収集や計画づくり、日本の宿泊施設やレストランの予約をサイト内で行えるという特徴をもつサービスとしてBEENOS Travel株式会社が提供する『旅行酒吧（トラベルバー）』、グランピング施設、貸別荘や古民家一棟貸しなどのパッケージレンタル、農業体験を楽しめる農泊施設、お寺の宿坊に滞在できる寺泊施設等ユニークな宿泊施設に特化したサイトとして株式会社エイチ・アイ・エスが提供する『WOW+』とのシステム連携を開始しました。また、宿泊施設の自社公式サイトでの販売強化を目的に、旅行会社12社及び宿泊施設公式サイト掲載の宿泊プランを集約・一括検索可能なサービスとして株式会社カカコムが提供する『価格.com 旅行・トラベル』とのシステム連携を開始しました。宿泊施設では、これらの販路を利用することにより、販路拡大による客室稼働率の向上と売上高の増加等を図ることができます。

『TEMAIRAZU』シリーズにおいては、宿泊需要が回復している宿泊業界における人手不足の課題解決として、レベニューマネジメント等に関わる業務の自動化を実現し、業務効率化とコスト削減によって宿泊施設の利益を最大化する『手間いらず 自動』をリリースしました。具体的には、①料金調整の自動化②連泊制限の自動化③最安値確認の自動化④報告業務の自動化を実現しています。また、営業活動においては、2024年2月13日から16日にかけて東京ビッグサイトにて開催された大規模イベント『国際ホテルレストランショーHCJ2024』へ出展し、当社ブースにも沢山の皆様にお越しいただきました。

宿泊業界では宿泊需要の回復が見られ、当社は、このような事業環境の中、『TEMAIRAZU』シリーズのサービス価値向上に努めてまいりました。

この結果、アプリケーションサービス事業の当第3四半期累計期間における業績は、売上高が1,492,924千円（前年同期比13.3%増）となり、セグメント利益は1,208,378千円（前年同期比11.6%増）と推移しました。

#### インターネットメディア事業

比較サイト『比較.com』においては、検索エンジンの最適化、ユーザーインターフェースの改善、モバイルユーザービリティの向上等の対策を継続的に行いましたが、検索エンジンのアルゴリズムの影響を受け、サイトのトラフィックが減少しました。

この結果、インターネットメディア事業の当第3四半期累計期間における業績は、売上高が16,600千円（前年同期比48.5%減）となり、セグメント利益は8,904千円（前年同期比63.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期累計期間における資産合計は、前事業年度末に比べ410,801千円増加し、6,592,310千円となりました。流動資産は399,541千円増加し、6,516,428千円となりました。主な要因は現金及び預金の増加363,270千円です。固定資産は11,259千円増加し、75,881千円となりました。主な要因は投資その他の資産のその他に含まれる長期前払費用の増加6,330千円です。

(負債)

当第3四半期累計期間における負債合計は、前事業年度末に比べ101,933千円減少し、295,175千円となりました。流動負債は101,933千円減少し、295,175千円となりました。主な要因は未払法人税等の減少109,387千円です。なお、当社に固定負債はありません。

(純資産)

当第3四半期累計期間における純資産合計は、前事業年度末に比べ512,734千円増加し、6,297,134千円となりました。主な要因は四半期純利益715,784千円の計上による増加と配当金の支払いによる減少204,108千円です。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の通期の業績予想につきましては、2023年7月31日付の決算短信において発表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,826,084	6,189,354
売掛金	275,294	313,211
その他	20,380	19,402
貸倒引当金	△4,871	△5,539
流動資産合計	6,116,887	6,516,428
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,167	2,167
減価償却累計額	△2,167	△2,167
建物(純額)	—	—
工具、器具及び備品	29,737	33,134
減価償却累計額	△27,917	△28,671
工具、器具及び備品(純額)	1,819	4,462
有形固定資産合計	1,819	4,462
無形固定資産		
ソフトウェア	1,093	758
その他	2,929	5,706
無形固定資産合計	4,022	6,465
投資その他の資産		
繰延税金資産	33,910	33,753
その他	25,409	33,399
貸倒引当金	△540	△2,199
投資その他の資産合計	58,778	64,953
固定資産合計	64,621	75,881
資産合計	6,181,509	6,592,310
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払法人税等	282,096	172,708
契約負債	38,856	41,779
その他	76,155	80,687
流動負債合計	397,108	295,175
負債合計	397,108	295,175
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	717,041	717,642
資本剰余金	1,010,533	1,011,134
利益剰余金	4,057,679	4,569,354
自己株式	△854	△997
株主資本合計	5,784,400	6,297,134
純資産合計	5,784,400	6,297,134
負債純資産合計	6,181,509	6,592,310

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,350,121	1,509,524
売上原価	108,296	142,967
売上総利益	1,241,825	1,366,556
販売費及び一般管理費	246,673	257,630
営業利益	995,151	1,108,926
営業外収益		
受取利息	409	467
その他	1,039	455
営業外収益合計	1,449	922
経常利益	996,600	1,109,848
税引前四半期純利益	996,600	1,109,848
法人税、住民税及び事業税	354,390	393,908
法人税等調整額	△1,963	156
法人税等合計	352,427	394,064
四半期純利益	644,173	715,784



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年9月21日 定時株主総会	普通株式	97,184	15.0	2022年6月30日	2022年9月22日	利益剰余金
2023年1月31日 取締役会	普通株式	84,233	13.0	2022年12月31日	2023年3月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## II 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年9月26日 定時株主総会	普通株式	113,389	17.5	2023年6月30日	2023年9月27日	利益剰余金
2024年1月31日 取締役会	普通株式	90,718	14.0	2023年12月31日	2024年3月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリ ケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,317,882	32,239	1,350,121	—	1,350,121
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,317,882	32,239	1,350,121	—	1,350,121
セグメント利益	1,082,475	24,099	1,106,574	△111,423	995,151

(注) 1. セグメント利益の調整額△111,423千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	アプリ ケーション サービス事業	インターネット メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,492,924	16,600	1,509,524	—	1,509,524
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,492,924	16,600	1,509,524	—	1,509,524
セグメント利益	1,208,378	8,904	1,217,282	△108,356	1,108,926

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,356千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

I 前第3四半期累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	
月額固定	1,048,238	2,346	1,050,585
月額変動	245,448	29,892	275,340
その他	24,195	—	24,195
顧客との契約から生じる収益	1,317,882	32,239	1,350,121
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,317,882	32,239	1,350,121

II 当第3四半期累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	アプリケーション サービス事業	インターネット メディア事業	
月額固定	1,126,611	1,720	1,128,331
月額変動	318,113	14,880	332,993
その他	48,199	—	48,199
顧客との契約から生じる収益	1,492,924	16,600	1,509,524
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	1,492,924	16,600	1,509,524